

# 滋賀県平和祈念館 年報

第 7 号

(平成 30 年度)

はじめに

滋賀県平和祈念館は、平成 24 年 3 月、「語りつぐ 平和へのねがい」を指針として、県民のみなさまの大きな期待と希望をになって開館しました。

はやくも開館以来、7 年が経過しました。この間の来館者総数は 16 万 4 千人を超え、出前学習利用者を加えると 23 万弱の人びとが祈念館をご利用になったこととなります。これもひとえに県民のみなさまのご支援のたまものと深く感謝申し上げます。

この間の本館の活動については、『滋賀県平和祈念館 年報』第 1 号を平成 25 年 12 月に刊行し、その後は各年度の活動について、それぞれ『年報』にまとめ、報告したところです。本号では、ひきつづき平成 30 年度の活動をまとめています。

本館の運営にあたっては、「モノと記憶の継承」、「自らできることのきっかけづくり」、「県民参加型の運営」という三つの基本方針のもとで、県民の戦争体験を継承する事業として、展示事業をはじめ、資料収集保存、普及啓発、平和学習支援、ボランティア活動支援などの諸事業を展開しています。

平成 30 年度の展示事業としては、第 20 回企画展示『戦場となった滋賀 - 県下の戦争遺跡 - 』を開催しました。これは本館が平成 29 年度におこなった県下の「戦争遺跡分布調査」の報告書にもとづいて企画されたものです。秋冬に入ってから第 21 回企画展示『戦場より故郷の家族へ - 戦没者の手紙 - 』、第 22 回企画展示『戦時下の村と陸軍飛行場』のほか、『ヒロシマ・ナガサキミニミニ原爆展』などを開催しました。そして戦争体験聞き取り調査や収集資料の整理は引きつづき精力的に続けられています。

平成 30 年度の普及啓発事業では、吉田裕一橋大学特任教授による『日中戦争からアジア・太平洋戦争 - 戦場の実態にもふれつつ - 』の平和学習講座、原田敬一佛教大学教授による『大人のための歴史教室』を開催しました。また、年々参会者が増えすっかり本館の行事として定着した『戦争体験を聞く会』および『映画上映会』を毎月開催しました。戦争体験者の映像記録の事業も着実に進み、常時公開しています。

一方、子供向けの事業として『へいわの学校あかり』の通年開催、そして平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクールも実施することができました。また実験的に『語り部次世代育成講座』を開催し、その試行錯誤から次年度に向けた新たな方針を検討しつつあります。

平和学習支援事業では、児童生徒の来館学習や出前講座にくわえて、パネル展示などをつうじた地域への平和学習支援もおこなっています。本館ではボランティア活動もさかんで、現在の登録メンバーは 49 名で主に、8 つのグループ活動があり、本館のさまざまな事業で協働がすすんでいます。

以上、平成 30 年度の活動を報告しましたが、平成の『年報』は本誌で終わります。次なる報告は「令和」の『年報』となりましょう。これからも本祈念館の運営にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

## 目 次

はじめに .....	1
<b>I 事業概要</b>	
<b>1 展示事業</b>	
(1) 企画展示 .....	3
(2) 企画展示関連事業 .....	13
(3) 特別企画展示 .....	14
(4) 地域交流展示 .....	15
(5) その他の展示 .....	17
<b>2 資料収集保存事業</b>	
(1) 戦争体験聞き取り調査 .....	19
(2) 収集資料の整理・保存 .....	20
<b>3 普及啓発事業</b>	
(1) 平和学習講座「人間爆弾『桜花』比叡山基地までの道」 .....	21
平和学習講座「日中戦争からアジア・太平洋戦争へ - 戦場の実態にも ふれつつ - 」 .....	22
(2) 大人のための歴史教室「漫画の中の戦争」、「小説の中の戦争」 .....	22
(3) 戦争体験を聞く会 .....	23
(4) 戦争遺跡見学フィールドワーク「八日市布引丘陵・掩体壕群学習講座 &現地見学会 .....	27
(5) 平和を祈念する日事業「未来へ語り継ごう ～『私』から『あなた』 へ～」 .....	28
(6) 開館7周年記念事業 .....	30
(7) 館長講座「自分史づくり講座」 .....	32
(8) 館長講座「語り部次世代育成講座」 .....	32
(9) 映画上映会 .....	32
(10) 平和の学校あかり .....	33
(11) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール .....	39
<b>4 平和学習支援事業</b>	
(1) 来館学習の支援 .....	42
(2) 出前授業 .....	43
(3) 地域への平和学習支援 .....	43
(4) 資料の貸出による平和学習支援 .....	44
(5) 戦争体験者証言映像の制作 .....	46
<b>5 ボランティア活動支援事業</b> .....	47
<b>II 資料</b>	
1 利用状況 .....	51
2 広報活動 .....	55
3 組織 .....	57
4 決算 .....	58
5 施設概要 .....	59
6 利用案内 .....	60
7 関係規程 .....	61

## I 事業概要

### 1 展示事業

#### (1) 企画展示

##### 第20回企画展示「戦場となった滋賀 - 県下の戦争遺跡 -」

○会期 平成30年(2018年)6月9日～9月24日

○会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

○開催趣旨と概要

趣旨： 戦争末期に米軍による本土攻撃が避けられないところまで追いつめられた日本。軍部は国内の軍隊・軍事施設を増強し、地下陣地・塹壕や避難壕を設置して、本土決戦の準備をはじめていた。一方米軍も本土上陸にさきだつて、都市や鉄道・港湾施設などを標的に激しく空襲した。本土では地上戦にいたらなかったものの、国民の暮らしの場が戦場へと変わりはじめており、そのことは滋賀県でもかわらなかった。

今回は、当館が戦争遺跡分布調査報告書にまとめた戦争遺跡の中から顕著な遺跡を抽出し、軍事施設・空襲・避難壕に分けて紹介した。



第20回企画展示チラシ



展示の様子

概要：

#### 【プロローグ】

陸軍八日市飛行場の全景を撮影した唯一の写真をオープニングにおき、滋賀県を代表する戦争遺跡である陸軍八日市飛行場の数少ない遺品として、正門内側にあったという銅板「誓詞」と飛行場内建物の屋瓦を冒頭に配置した。

## 【軍事施設】

展示紹介した軍事施設は、陸軍では八日市飛行場、大津歩兵第九連隊（少年飛行兵学校）、饗庭野演習場、舟木飛行場、海軍では比叡山桜花発射訓練基地、滋賀海軍航空隊、大津海軍航空隊、天虎飛行訓練所、同菖蒲分所、木曾飛行場である。

現地に遺構が残されているケースは少ないため、古地図、および終戦直後と現在の空中写真により施設の位置と形状を示した。そのほか、施設に関係する古写真、現地に痕跡的に遺構が残されている場合はその現状写真を示して紹介した。

米軍が撮影した大津空に飛行機を並べた写真、そして、戦後、進駐軍がキャンプにした少年飛行兵学校と大津・滋賀海軍航空隊の写真は、戦後に撮影されたものではあるが軍事施設の生々しいようすを紹介することができた。



## 【射撃場・捕虜収容所】

軍事施設としても民間施設としても存在した射撃場は、山林中に設置されたのでよい状態で保存されていることがある。県下には6か所の射撃場跡に遺構が残されている。現状の写真とともに、八幡北ノ庄射撃場の設置工事のようすを撮影し



た絵はがきの画像を拡大して紹介した。

県内に3か所設置された捕虜収容所は、戦争末期に干拓工事に従事させるために陸軍が設置したものである。

### 【空襲】

5月から8月上旬に彦根・八日市・大津などを襲った艦載機による空襲を体験談で紹介し、場所を古地図や空中写真で示すとともに、日本の「戦災概況図」と米軍の空襲レポートをあわせて紹介して、空襲の実態を立体的に俯瞰することを試みた。また、守山市の民家に残っていた弾痕の残る部材を立体的に展観した。



### 【避難壕】

滋賀県を代表する顕著な戦争遺跡である岩脇機関車避難壕を中心に、軍需工場が疎開した廃トンネルや現用トンネル、大津海軍航空隊が掘削した壕跡を現状写真で紹介した。



### **【みぢかな戦争遺跡】**

戦時の生活をしのばせる遺跡として、松脂を採集した痕跡と、防空のために白壁に墨を塗った倉庫の写真を展示し、来館者に情報提供を呼び掛けた。松脂の採集痕は真田義之氏の協力により紹介できたものである。

## 第21回企画展示「戦場より故郷の家族へ - 戦没者の手紙 -」

○会期 平成30年（2018年）9月30日～12月24日

○会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

○開催趣旨と概要

趣旨： 戦前の日本では20歳の男性が兵士として徴集されたが、戦争が始まると20歳代なかば以上の男性も招集を受けるようになった。すでに出征経験のある人でも二度、三度と出征することは普通であった。こうした年齢の人々は、すでに結婚して幼い子どもがおり、大黒柱として、あと取りとして家族から頼りにされた人々であった。先の大戦では、こうした人々が戦場へかり出されたのである。

今回は戦場で亡くなった方を中心に、彼らが故郷へ書き送った手紙を多数紹介した。



第21回企画展示チラシ



展示の様子

概要：

### 【プロローグ】

戦場の将兵が故郷に書き送った手紙やはがきは軍事郵便として内地に配送された。軍事郵便は無料だったが、必ず検閲がはいった。展示の冒頭では軍事郵便の制度を紹介した。

### 【父へ 家族へ】

9名の方の手紙とはがきを紹介した。ノモンハンの戦闘中に高橋克己さんが死を覚悟して母あてに書いた手紙には、自分が死んだら「誰よりも一番泣いて下さい。そして一時も早くあきらめて下さい」と書かれていた。



### 【妻へ 子どもへ】

4名の方の手紙とはがきを紹介した。若い妻へ愛情に満ちた手紙、子の顔を見ずに出征した夫が妻に対して写真を送るよう何度も催促した手紙、家業をまかせた妻に対して助言と励ましを送った手紙などがある。幼い子どもが読めるよう、カタカナで書かれたはがきもあった。



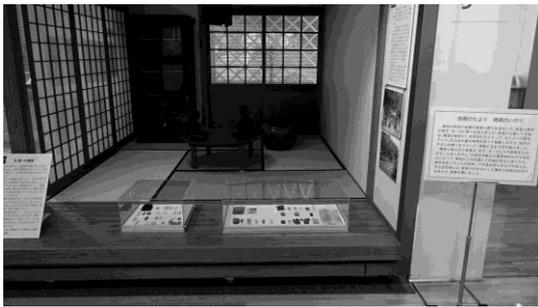
### 【母へ】

4名の方の手紙とはがきを紹介した。病弱な父の世話をする母のからだを気遣う手紙がいたいたい。母子家庭でありながら飛行兵に志願した高橋亮一さんには予科練時代から操縦士として実戦にでるまでの手紙が残されている。



### 【故郷のたより 帰郷のいのり】

戦場の将兵にとって家族から送られてくるたよりはなにもものにも代えがたい慰めであったという。家族や友人から送ってきた手紙やはがきを復員するまで持ち歩いた人もいた。ここでは田中五平さんが戦場を持ち歩いた「故郷の便り集」という1冊にとじた手紙集を展示した。また、無事に帰還することを祈って全国から買い集め、出征者に持たせた数多くのお守り2件と、神社の名称から戦場からの帰還にご利益があると信じられた大津市の還来神社のようすを体験談で紹介した。



## 第22回企画展示「戦時下の村と陸軍飛行場」

- 会期 平成31年（2019年）1月9日～6月2日
- 会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース
- 開催趣旨と概要

趣旨： 地元が官民あがて誘致運動をくり広げた八日市飛行場は、陸軍航空第三大隊が大正11年（1922年）1月に当地で開隊されたことにより、正式に開設した。地元が期待したとおり、飛行場の開設は街の経済を活性化するとともに、深刻な農業不況におちいつていた農村部にとっても安定した就職先を提供した。今回は、農村に生まれた人々に焦点をあわせて、彼らが戦時体制に組み込まれ、激化する戦争にまき込まれていったようすを紹介した。



第22回企画展示チラシ 表面



展示の様子

概要：

### 【プロローグ】

八日市に陸軍飛行場が設置された経緯と、飛行場をめぐる愛知川流域の当時の農村と農業のようすを、解説パネルと古地図と当時の写真で紹介した。

### 【大阪陸軍航空廠八日市分廠】

八日市飛行場において周辺住民の就職先となったのは、飛行機の整備工場である八日市分廠だった。ここで働く整備技術者は軍属という身分であり、職員は一般から募集されていた。ここでは地元に住み、分廠で働いていた小森章次さんらの体験談から、分廠の仕事内容や当時職場で起こった事件を紹介した。



### 【増産と供出に追われた村】

食糧の増産と供出の厳しさを語られることの多い戦時下の農村分生活について、多角的な観点から見直すことを試みた。ここでは、戦争中に自然災害に見舞われたようす、その復旧に駆り出された食糧増産隊（高等小学校卒業生を組織）の活動のようすを高瀬正一郎さんの絵と青木安司さんの体験談で紹介した。また、旧水口町和野で災害復旧工事に助力した食糧増産隊が工事中に事故に遭い死者を出したようすとその石碑を紹介した。また、軍農会の指導技術者として神崎郡内を走り回った藤川誠一郎さんの体験談を紹介し、戦時下の農業のあり方の一端を示した。



### 【戦争末期の八日市分廠】

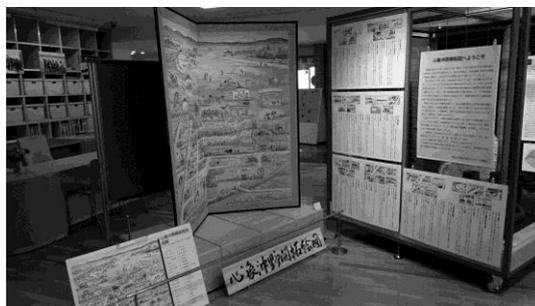
戦争末期には、八日市飛行場は飛行機の大型化に対応して拡大され、高圧的な土地買収が実施されて、多くの田畑を失った。また、八日市分廠の機能と飛行機は空襲を避けるために周辺各地に分散疎開した。

終戦後、飛行場は進駐軍に接收され、武器と飛行機は焼却された。こうした終戦前後のようすを体験談で紹介した。



### 【戦後の飛行場】

軍隊が消滅したあとの飛行場は農林省の管轄となり、戦後も続いた食糧難と大量の復員者の定着先を確保することを目的として開拓されることになった。もともと農業に適さない土地を開拓することには大変な苦勞があった。御園村役場で飛行場の開拓事業を担当した小森章次さんの手記で紹介した。そして、入植者村であった沖野のまちづくり協議会が制作した「心象沖野開拓絵図」を展示した。



## (2) 企画展示関連事業

### ○第 20 回企画展示関連

平和学習講座「人間爆弾『桜花』比叡山基地までの道」

- ・ 講師 藤原 耕（豊の国宇佐市塾）
- ・ 開催日時 平成 30 年（2018 年）7 月 1 日（日）13：30～15：00
- ・ 参加者 74 名
- ・ 事業概要 米国国立公文書館等に所蔵された映像・公文書より、米軍から見た「桜花」、そして比叡山「桜花」基地についての映像と共に上映・解説していただいた。

### ○第 22 回企画展示関連

戦争遺跡探訪会「探訪 陸軍飛行場と掩体群」

- ・ 開催日時 平成 31 年（2019 年）3 月 21 日（木）9：00～12：00
- ・ 参加者 29 名
- ・ 事業概要 布引丘陵に残る旧陸軍八日市飛行場の掩体群の遺跡と飛行場本部跡まで、飛行場を南北に縦断する探訪ツアーを実施した。近江鉄道大学前駅を集合地点とし、掩体群、芝原揚水機場、旧飛行場入植者が建てた「拓魂」碑を経て、冲原神社・旧八日市鉄道飛行場駅跡、「陸軍飛行第三聯隊跡」碑を終点とした。（全行程約 7km）

### (3) 特別企画展示

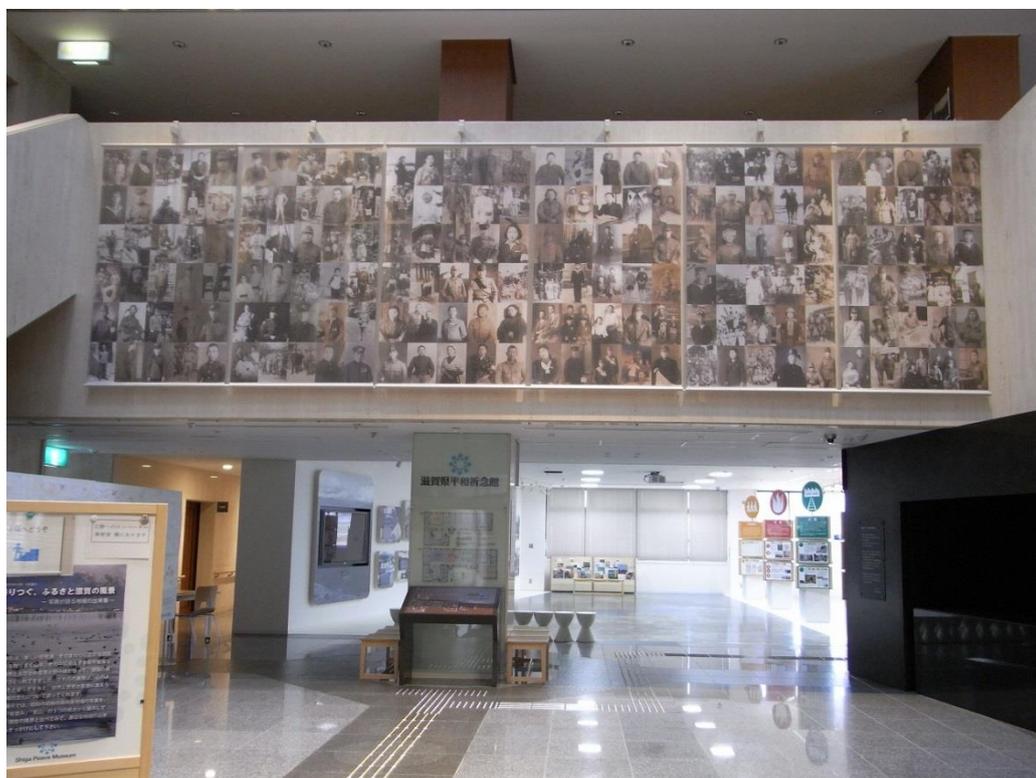
#### 第7回特別企画展示 「群像」

○会期 平成30年（2018年）4月1日～平成31年（2019年）3月31日

○会場 滋賀県平和祈念館エントランス

○開催趣旨

滋賀県平和祈念館は、戦争体験とそれらにまつわる当時の資料の収集・保管・展示や平和学習を通して、戦争体験者それぞれの想いや平和への願いを次世代へと伝えていく施設であることから、基本理念のひとつである「モノと記憶の継承」の象徴として、時代に翻弄されながらも、懸命に戦時を生き抜いた人びとの写真を集めた6枚のパナーを展示した。



特別企画展示 タペストリー

#### (4) 地域交流展示

##### 「新作 戦争体験者 証言映像 2017 上映」

○会期 平成 30 年（2018 年）4 月 4 日～7 月 1 日

○開催趣旨

昨年度制作した戦争体験者証言映像をより広く県民の皆さんに知ってもらおうと視聴スペースを設けて常時上映した。同時に、証言された 5 名の語る内容を紹介するパネルを展示した。



戦争体験者証言映像上映の様子

##### 「ヒロシマ・ナガサキミニミニ原爆展」

○会期 平成 30 年（2018 年）7 月 4 日～9 月 2 日

○開催趣旨

長崎原爆資料館から、「ミニミニ原爆展」開催用のデータを借用して、原爆被害の概要及び広島・長崎の被災資料写真、被爆後の惨状写真、被爆者の写真など 20 点を展示した。



ミニミニ原爆展の様子

## 「戦時中の体験 触れる 感じる そして考える」

○会期 平成 30 年 (2018 年) 9 月 5 日～12 月 24 日

○開催趣旨

背嚢を背負った時の重さ体験や国民服の試着、瓶搗き精米など体験を通して学ぶ展示を実施した。



体験型学習展示の様子

## 「県内小中学校平和学習 子どもたちの足跡展」

○会期 平成 31 年 (2019 年) 1 月 7 日～3 月 31 日

○開催趣旨

各校で行われた平和学習の成果物（模造紙にまとめたものや新聞、ポスターなど）を展示した。また、9～12 月に来館した学校の児童生徒に書いてもらったピースメッセージ（36 校 1,789 枚）を展示した。



子どもたちの足跡展の様子

## (5) その他の展示

### 「奉安庫」常設

- 会期 平成 26 年（2014 年）6 月 28 日～
- 展示場所 滋賀県平和祈念館 2 階 研修室横壁面
- 開催趣旨

当館の常設展示資料として、大津市立上田上小学校より寄贈いただいた奉安庫を設置した。戦前の学校では、明治の終わり頃から、紀元節、天長節、新年、明治節の国家祝賀式典には、宮内省から各学校に貸与された天皇と皇后の写真（以下、「御真影」）に最敬礼し、「教育勅語」を奉読する儀式が執り行われていた。この儀式の際に使用する「御真影」と「教育勅語」を納める奉安所として、各学校の講堂や校長室などに奉安庫が設置された。

大津市立上田上小学校の奉安庫は、昭和 8 年（1933 年）10 月 7 日に竣工された講堂に設置されていたが、昭和 58 年（1983 年）、講堂が老朽化のために解体された際に奉安庫の枠のみ取り出し、校舎の階段の踊り場に移設された。平成 25 年（2013 年）には、設置されていた校舎の改修が決まったため、当館へ寄贈いただいたものである。



奉安庫展示

## 「平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール作品展」

○会期 平成 30 年（2018 年）11 月 3 日～平成 31 年（2019 年）1 月 31 日

○展示場所 滋賀県平和祈念館 2 階 ギャラリー

○開催趣旨

次世代を担う子ども達が、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子ども達が描く絵画を通して、広く県民に平和への想いを伝えることを目的として実施した。

優秀作品 6 作品を含む応募のあったすべての作品を展示した。



優秀作品の展示の様子



応募全作品の展示の様子

## 2 資料収集保存事業

### (1) 戦争体験聞き取り調査

滋賀県平和祈念館では、戦争当時滋賀県にお住まいだった方、あるいは滋賀県にご縁のあった方を対象に、調査員2名を配置して戦争当時の話の聞き取り調査を行っている。体験者の方の高齢化が進む中、戦闘体験などの第一線での体験談を聞き取る機会が少なくなり、銃後と言われた国内での体験が多くなりつつある。

平成30年度の聞き取りに関する調査件数は43件、その内32名の方から直接的な体験談の聞き取りを行った。また、資料寄贈に付随した体験等の調査は11件である。この他、寄贈等資料に関するものは67件であった。体験談の内容では、軍隊での体験が約半数を占め、次いで国民学校児童や中等学校生徒としての体験が約3割見られた。他には、夫や父を戦争で亡くした遺族としての体験等が見られた。

～平成30年度戦争体験聞き取り調査事例～

乙種飛行兵として転戦し、戦後シベリア強制抑留となる

内林 義幸さん (90才) =湖南省市=

内林義幸さんは、国民学校高等科2年の時に舞鶴海兵団の入団試験に合格します。それには、国民学校の先生の強い勧めがあったのでした。海軍に志願したのは、子どもの頃、夏の暑い日に陸軍の兵が旧東海道を行軍していて、大変苦しそうであったのを見ていたので、軍艦とか飛行機に乗ってる方がいいなと思っていたからだそうです。

入隊は舞鶴ではなく、鹿児島県の串良海軍航空隊へ入り、乙種航空兵となります。串良での教育を終えた内林さんは、大分県の宇佐航空隊へ移動しますが、さらに台湾に駐留していた901部隊に転属になり、台湾へ向かうこととなります。しかし、台湾の基隆に着くと、901部隊が駐留していた東港は、米軍の定期的な爆撃を受けており、滑走路も使えず、飛行機も無いといった状態であり、901部隊は空襲や潜水艦の攻撃を避けて夜間航行で上海へ向かいます。上海航空隊で、やっと一式陸上攻撃機に補助的に乗ることとなります。実戦ではなく、整備した機体のテスト飛行のようなことが多くなります。

しかし、そのうち上海航空隊への空襲もひどくなり、飛行場は滑走路が穴だらけになり、応急修理をしてもすぐに空襲で使えないという状態になります。そして、航空隊は朝鮮半島の元山に退却することになります。元山には一式陸上攻撃機が4機ほどあったそうですが、空襲も無く、機体の整備をしているうちに、終戦になったそうです。飛行機でみんなで日本に帰ろうかという話もあったそうですが、連合軍に撃ち落とされるだろうという事になり、そのうち何とかなるだろうと思っていると、間もなくソ連軍が進駐してきて、武装解除となりました。そして、興南から日本に帰れると思って喜んで船に乗りますが、それは、その後約2年間にわたるシベリア強制抑留の始まりだったのでした。

## (2) 収蔵資料の整理・保存

滋賀県平和祈念館では、県民の戦争体験にまつわる資料や戦争当時の滋賀県に関連する資料 35,000 点以上を収集し、その整理、保管を行っている。平成 30 年度は、新たに 2,234 点の資料を収集した。

遺品等の品物について、戦争体験者からその子や孫世代の方々からのご寄贈が増えてきた。寄贈資料の状態を保ち、次世代へ継承していくためにも、引き続き資料の保存と整備をおこなう。

～平成 30 年度受け入れ資料の事例～



### 虎の絵のお守り

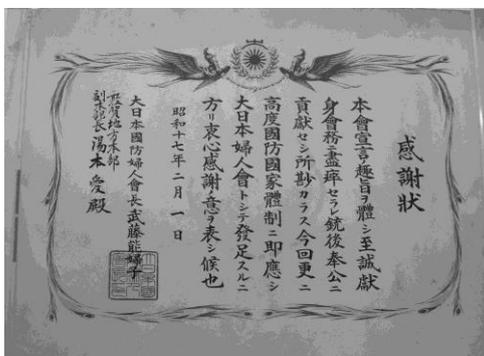
出征兵士のお守りとして、親戚の理髪店を営んでいるご主人がかいておくれたもの。対になっており、一枚は久野さんが戦地へ持っていき、もう一枚は無事の帰還を祈り実家の神棚に置かれた。 大津市 久野 治さん提供



### 呉の大空襲で被災した鉄瓶

広島に呉に住んでいた親戚の方が戦後に滋賀へ持ち帰ったもの。呉の大空襲で親戚宅が全焼し、唯一残ったのがこの鉄瓶だった。

野洲市 福永 裕保さん提供



### 感謝状（大日本国防婦人会、昭和 17 年 2 月 1 日付）

「これまでの会務に尽力し、銃後奉公に貢献したことに対する感謝状。「さらに高度国防国家体制に即応するために大日本婦人会として発足する」と記されている。昭和 17 年 2 月 2 日に愛国婦人会、大日本国防婦人会、大日本連合婦人会等を統合し大日本婦人会が発足。20 歳以上の未婚を除く女性たちは、戦争協力への動員をせざるを得なかった。

彦根市 湯本 宜子さん提供

### 3 普及啓発事業

#### (1) 平和学習講座

##### 「人間爆弾『桜花』比叡山基地までの道」

○開催日時 平成30年（2018年）7月1日（日）13:30～15:00

○受講者数 74名

○事業概要

豊の国宇佐市塾の藤原耕氏を講師に迎えて、「人間爆弾『桜花』比叡山基地までの道」と題して講演いただいた。『桜花』は旧日本海軍が戦局打開の為に開発した特攻兵器で人間爆弾とも呼ばれた。1945年3月の九州沖航空戦から使用され、終戦間際には比叡山にも『桜花』の訓練基地が建設された。米国立公文書館等に所蔵された映像・公文書より米軍から見た『桜花』そして比叡山『桜花基地』の映像と共に上映・解説いただいた。



平和学習講座の様子



平和学習講座の様子

## 「日中戦争からアジア・太平洋戦争へ - 戦場の実態にもふれつつ - 」

- 開催日時 平成30年（2018年）10月21日（日）13：30～15：00
- 受講者数 65名
- 事業概要

一橋大学大学院社会学研究科特任教授の吉田裕氏を講師に迎えて、日中戦争とアジア・太平洋戦争（いわゆる太平洋戦争）とは全く別の戦争ではなく、この2つの戦争が連続した密接不可分な戦争であったことをさまざまな面から明らかにし、あわせてアジア・太平洋戦争の苛酷で凄惨な戦場の実態にもふれて講義をしていただいた。



平和学習講座の様子

## (2) 大人のための歴史教室（2回連続講座）

- 開催日時  
平成30年（2018年）9月22日（土）、11月24日（土）  
各回ともに13：30～15：00
- 講座内容および受講者  
第1講「漫画の中の戦争」 受講者20名  
第2講「小説の中の戦争」 受講者21名
- 事業概要

佛教大学歴史学部の原田敬一教授を講師に迎えて、人々が目にすることの多い漫画や小説について、そこでは戦争がどう描かれているか、戦前から現代までのいくつかを素材に講義をしていただいた。



大人のための歴史教室の様子

### (3) 戦争体験を聞く会

【平成 27 年度より毎月 1 回実施】(8 月は平和を祈念する日事業、3 月は 7 周年事業にて実施)

○開催日時

平成 30 年 (2018 年) 4 月 15 日、5 月 13 日、6 月 10 日、7 月 15 日、9 月 16 日、10 月 14 日、11 月 11 日、12 月 9 日、平成 31 年 (2019 年) 1 月 13 日、2 月 10 日、各回ともに 13 : 30 ~ 15 : 00

○開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室

○語り部、内容および参加者数

4 月 15 日 (日)

吉村 登志子さん

(昭和 11 年生まれ、東近江市在住)

「福島への疎開と戦後の生活」

参加者 23 名

「戦争体験を聞く会」の様子



5 月 13 日 (日)

藤崎 高男さん

(大正 15 年生まれ、野洲市在住)

「語り継ぐシベリア抑留」

参加者 50 名



「戦争体験を聞く会」の様子

6月10日（日）

竹村 季乃さん

（昭和13年生まれ、湖南省在住）

「戦地からの手紙 ～家族を想う父と  
ともに～」

参加者 50名



7月15日（日）

小西 久次郎さん

（昭和4年生まれ、彦根市在住）

「予科練での日々と戦後の生活」

参加者 37名



9月16日（日）

丸岡 重男さん

（大正13年生まれ、東近江市在住）

「福知山歩兵第20聯隊に入隊  
中国での通信兵の体験」

参加者 31名



10月14日（日）

鶴房 正三さん

（昭和3年生まれ、東近江市在住）

「海軍技術廠での徴用体験や津の空襲  
の様子」

参加者 29名



「戦争体験を聞く会」の様子

11月11日（日）

東郷 正文さん

（昭和13年生まれ、大津市在住）

「上田上での日本機墜落、焼夷弾投下の当時の様子」

参加者 27名



12月9日（日）

西村 光三さん

（大正14年生まれ、長浜市在住）

「大阪防空庁舎での日々と大阪空襲の当時の様子」

参加者 16名



1月13日（日）

坪田 末治郎さん

（昭和9年生まれ、東近江市在住）

「国民学校1年生から6年生  
～わたしも戦争に加担～」

参加者 32名



2月10日（日）

永見 小太郎さん

（大正11年生まれ、近江八幡市在住）

「大阪での勤務から徴兵へ  
～『ガス兵』としての毎日～」

参加者 102名



### 【平和を祈念する日事業関連】

○開催日時 平成30年（2018年）8月13日、8月14日、8月15日

○開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室

○語り部、内容および参加者数

月日	語り部	内容	参加者
8月13日	稲垣 澄子さん（昭和3年 生まれ、米原市在住）	「戦争がなかったら… ～語り継ぐ ことの大切さ～」	41名
8月14日	山中 隆一さん（大正10年 生まれ、甲賀市在住）	「得撫島から北サハリン・オハ捕虜収 容所へ」	60名
8月15日	野村 和男さん（昭和4年 生まれ、東近江市在住）	「八日市航空分廠から戦地」	74名



戦争体験を聞く会（稲垣澄子さん）



戦争体験を聞く会（山中隆一さん）



戦争体験を聞く会（野村和男さん）

### 【開館 7 年記念事業関連】

- 開催日時 平成 31 年（2019 年）3 月 17 日（日）13：30～15：00
- 開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室
- 語り部、内容および参加者数

月日	語り部	内容	参加者
3 月 17 日	北川 喜一郎さん（大正 12 年生まれ、愛荘町在住）	「フィリピン フガ島での通信部隊としての体験」	82 名



戦争体験を聞く会（北川喜一郎さん）

### (4) 戦争遺跡見学フィールドワーク「八日市布引丘陵・掩体壕群学習講座&現地見学会

- 開催日時 学習講座：平成 30 年（2018 年）11 月 4 日（日）13：30～15：00  
現地見学会：平成 30 年（2018 年）12 月 2 日（日）9：30～12：00
- 講演場所 学習講座：滋賀県平和館 2 階研修室  
現地見学会：東近江市布引丘陵 掩体壕
- 参加者 学習講座：9 名  
現地見学会：19 名
- 事業概要

東近江市教育委員会歴史文化振興課より嶋田直人氏を講師に迎えて、八日市布引丘陵の掩体壕群の学習講座と現地見学会を開催した。1 回目として、嶋田氏による学習講座を実施した。その 1 か月後、嶋田氏の案内・解説のもと、掩体壕群の見学を行った。途中、さまざまな形式の壕を解説していただき、参加者の質問にも回答をいただいた。



学習講座の様子



現地見学会の様子

#### (5) 平和を祈念する日事業「未来へ語り継ごう ～『私』から『あなた』へ～」

○開催期間 平成 30 年 (2018 年) 8 月 13 日 (月) ～15 日 (水)

○参加者 898 名 (開催期間中の来館者)

##### ○事業概要

8 月 13 日～15 日の期間、平和を祈念する日事業「未来へ語り継ごう～『私』から『あなた』へ～」として、様々なプログラムを開催した。

3 日間を通して午前中に映画上映会、子ども映画上映会を、午後からは戦争体験を聞く会を行った。映画上映会では、「白い町ヒロシマ」(13 日)、「ドキュメンタリー 特攻なぜ拡大したのか (NHK スペシャル)」(14 日)、「ゆずり葉の頃」(15 日)を、子ども映画上映会では、アニメ映画「凧になったお母さん」(13 日)、「ぼくの防空壕」(14 日)、「焼跡の、お菓子の木」(15 日)を上映した。戦争体験を聞く会では、米原市在住の稲垣澄子さん、甲賀市在住の山中隆一さん、東近江市在住の野村和男さんの 3 名の方々にお越しいただき、当時体験された様々なことについてお話しいただいた。

その他、13 日は地元バンド「ワッショーレ」によるミニコンサート (午後)、14 日は当館ボランティアによる創作劇「異国の地にて」の発表 (午前)、そして地元の八日市児童合唱「スマッシュ」のミニコンサート (午後) を行った。

終戦の日の 15 日には、当館ボランティアによる戦時食体験 (100 食限定)、午後からは地域グループ「福ちゃん」による催し、さらに「わ音」のミニコンサートを実施した。また、正午に黙とうをささげるとともに、館長による平和メッセージを伝えるなど、平和を祈念するセレモニーを実施した。

期間中は子どもたちが平和への願いを込めて作ってくれたあんどんを 1 階ロビーに並べ、ライトアップした。





館長による平和メッセージの様子



スマッシュ・ミニコンサートの様子



ボランティアによる戦時食の提供の様子



ボランティアによる演劇上演の様子

## (6) 開館7周年記念事業

- 開催日時 平成31年(2019年)3月17日(日) 10:30~16:30
- 参加者 169名(開催日の来館者数)
- 事業概要

開館7周年を記念して3月17日に「戦争体験を聞く会」や新作DVD「戦争証言2018」の上映会、当館職員による戦争体験聞き取り調査などの事業活動報告会、また子ども向け事業「へいわの学校あかり」受講生による活動報告会など様々なプログラムを開催した。さらに当館のボランティアグループが、戦時食の提供や創作劇の上演などを行い、日ごろの活動成果を発表いただいた。

開館 7周年記念事業 開催  
滋賀県平和祈念館へ行こう

平成31年 日時 3月17日(日) 9:30開館 入館無料

11:30~12:00 15:50~16:30 「戦争証言 2018」上映会  
今年度制作した新作を一挙上映します！

12:00~12:40 戦時食の提供  
戦時食ボランティアイベントをすることに賛成の方へ！  
今年はいったい何が提供されるかな？  
限定100食

12:45~13:25 創作劇  
劇ボランティア  
夏イベントで公演した「異国の地にて」を再公演決定！  
新たな視点で観てください！  
(裏面に詳細あり)

13:30~15:00 戦争体験を聞く会  
劇ボランティア  
北川 喜一郎さん  
(大正12年生まれ)  
当時の戦地の様子などを語っていただきます！  
(裏面に詳細あり)

15:00~15:50 平和の学校あかり活動報告&閉校式  
今年度活動してきた内容について参加した子どもたちが発表します！

10:30~11:30 活動報告会  
●語り部世代育成講座  
●高野真氏の戦争体験  
●戦争体験聞き取り調査  
●学校への平和学習支援  
館長・職員が報告します

会場へのアクセス  
滋賀県平和祈念館(東近江市下中野町431番地)  
●名神高速道路「八日市IC」から車で約10分  
●JR琵琶湖線(東海道線)彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約20分「東栗支所・診療所前」下車すぐ

お問い合わせ  
TEL 0749-46-0300 FAX 0749-46-0350  
MAIL heiwa@pref.shiga.lg.jp

戦争体験を聞く会 当日の日程

きたがわ 北川 喜一郎 さん  
大正12年生まれ  
愛任町 在住  
通信部隊としての体験

10:30~11:30 活動報告会  
11:30~12:00 戦争証言 2018 上映会(前半)  
12:00~12:40 戦時食の提供  
12:45~13:25 創作劇「異国の地にて」  
13:30~15:00 戦争体験を聞く会  
15:00~15:50 平和の学校あかり活動報告  
15:50~16:30 戦争証言 2018 上映会(後半)

当館ボランティアによる創作劇「異国の地にて」12:45~13:25

演劇グループは、現在11名のスタッフで活動しております。昨年度は、創作劇9回、紙芝居9回と、県下18か所の地域で出張公演させて頂きました。今年度は新たに2作目の創作劇に取り組み、練習を重ねてきました。来館も最も多々ございますが、スタッフ一同心を込め、精一杯演じますので、ぜひご来館下さいませよう、ご案内申し上げます。

昨年度は紙芝居を実施しました  
今年度は創作劇の予定です

当館ボランティアによる活動報告展

現在、当館には50名あまりの方々がボランティアとして登録され、さまざまなグループに所属して活動していただくとともに、当館をさまざまな面でサポートいただいています。  
各グループが今までどのような活動をしてきたか、また現在どのような活動をしているかをパネルや成果物で展示報告していただきます。

ボランティア活動・グループ  
○来館者案内活動 ○語り部・語り継ぎ部活動  
○戦時食グループ ○演劇グループ  
○手紙等相談グループ ○聞き取りグループ  
○情報紙制作活動 ○大風づくりグループ

来館者の声

子どもたちが自分の体験を語られたのがすばしかったです。今の子どもたちも体験をまじりながら戦争のことを学べます。また大人になっても子どもたちに伝えてほしいとおもいます。  
40代 女性

展示を見るだけでなく、話を聞いたり、体験することによって、戦争のことをよりリアルに感じることができました。子どもたちには、戦争の残酷さを伝えるだけでなく、平和の大切さを伝えることも大切だと感じました。子どもたちにも伝えてほしいとおもいます。  
60代 男性

手作り紙芝居など、子どもたちにもわかりやすい状態で、子どもも真剣に見ていました。すばしかったので、いろんなところで一人でも多くの子どもたちに見せてあげてほしいです。  
40代 女性

演劇に参観に行った人の話を聞くと、大変感動かんと感じました。戦争の残酷さにもっとリアルに感じました。平和の大切さを伝えることも大切だと感じました。子どもたちにも伝えてほしいとおもいます。  
60代 女性

昔のことをたくさん知ることができました。もっとたくさん知りたかったです。  
9歳 女の子

戦争から70年以上経ちますが、当時のことを知っていることが意外に少なくなっていることを感じます。こういった機会に、改めて戦争についていかに伝えていくか、自分自身にできることは何かと考えることがありました。  
60代 女性

イベントチラシ



館職員の事業活動報告会の様子



ボランティアによる戦時食の提供の様子



ボランティアによる紙芝居の様子



戦争体験を聞く会(北川喜一郎さん)の様子

### (7) 館長講座「自分史づくり講座」

- 開催日時 毎偶数月の第2土曜日 14:00～15:30
- 参加者 延べ8名
- 事業概要

平成24年(2012年)7月から、自分史づくりをサポートする館長講座「自分史づくり講座」を開催している。今年度は、原則、偶数月の開催とした。本講座では、受講者自身が書き進めている自分史の原稿を持参し、館長が文章の表現方法など具体的な助言を行っている。

### (8) 館長講座「語り部次世代育成講座」

- 開催日時 毎奇数月の第2土曜日 14:00～15:30
- 参加者 延べ18名
- 事業概要

戦争体験者の方々の高齢化がすすむなか、語り部の育成は開館当初から当館の重要な役割と位置づけられており、今年度から試行的に開始した。

### (9) 映画上映会

【平成27年度より毎月1回実施】

- 開催日時

平成30年(2018年)4月29日、5月27日、6月24日、7月29日、8月26日、9月30日、10月28日、11月25日、12月23日、平成31年(2019年)1月27日、2月24日、3月24日(いずれも13:30～)

- 開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室
- 上映作品および参加者数

月日	上映作品	参加者
4月29日	映画「つばさ」	36名
5月27日	ドキュメンタリー映画「疎開した40万冊の図書」	40名
6月24日	映画「NO」	40名
7月29日	映画「迎春花」	42名
8月26日	ドキュメンタリー映画「私はシベリヤの捕虜だった」	94名

9月30日	ドラマ「紅白が生まれた日」	10名
10月28日	映画「父と暮らせば」	46名
11月25日	映画「人間の翼」	34名
12月23日	映画「東京物語」	61名
1月27日	NHKスペシャル「カラーでみる太平洋戦争」	45名
2月24日	映画「独裁者」	78名
3月24日	アニメドキュメント「あの日、僕らは戦場で - 少年兵の告白 -」	48名

## (10) 平和の学校あかり

○開催日時

平成30年(2018年)5月26日、6月3日、7月22日、7月29日、8月4日、8月9日、8月13日、8月25日、10月8日、11月3日、11月17日、12月8日、平成31年(2019年)2月16日、3月17日の14日間

滋賀県平和祈念館

平成30年度 子ども向け体験型平和学習  
**平和の学校あかり**

子どもたちがさまざまな体験活動を通して、戦争の悲惨さを知り、平和へのねがいを育む「平和の学校あかり」【前期】を開催します。

**前期 参加者募集!!**

「平和の学校あかり」【前期】スケジュール

タイトル	開校日	学習時間	定員
第1回 平和祈念館ってどんなところ？	5月26日(土)	14:00～16:00	20名
第2回 育てて食べよう戦時食①	6月3日(日)	9:30～12:00	20名
第3回 教えて戦争体験Ⅰ 【目玉焼きをくれた兵隊さん】	7月22日(日)	14:00～15:30	40名
第4回 「すいん」ってどんなもの？	7月29日(日)	14:00～16:00	20名
第5回 戦跡めぐり of 八日市飛行場	8月4日(土)	13:00～16:30	20名
第6回 教えて戦争体験Ⅱ 【長崎に落とされた原爆】	8月9日(木)	14:00～15:30	40名
第7回 わたしたち平和へのねがい調査隊	8月13日(月)	14:00～16:00	20名
第8回 戦跡めぐり in 大津	8月25日(土)	12:00～17:00	20名

※各回とも参加費は無料です。  
(ただし、第4回と第5回、第8回は保険料20円が必要です。また、第8回は施設入館料等が必要です。)

○主な対象  
小学校6年生～中学校3年生 ご家族での参加、歓迎します。

○申込方法  
裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、持参、または FAX でお申し込みください。(電話や電子メールでも受付付きます)  
開校日の1週間前まで受付を終了します。ただし、定員に達した場合はその時点で受付を終了いたします。



平和の学校あかり【前期】申込用紙

滋賀県平和祈念館 へて (FAX:0749-46-0350) 滋賀県平和祈念館

項目	タイトル	主な内容	参加費	申込
第1回	平和祈念館ってどんなところ？	ワークショップの裏面に取次ながら、展示を見学します。そして、パルケータワフにも参加し、入館券の申し込みを行います。	無料	※1 3才以下の幼児は、保護者の「責任書」を持って参加します。
第2回	育てて食べよう戦時食①	戦時中にくらべられているお弁当の作り方を学びます。戦時中にくらべられているお弁当の作り方を学びます。※1	無料	※2 3歳未満の子は、保護者の「責任書」を持って参加します。
第3回	教えて戦争体験Ⅰ【目玉焼きをくれた兵隊さん】	戦争末期、陸軍第四師団に所属していた、当時、長崎であった方に話を聞かせる予定です。※2	無料	※3 3歳未満の子は、保護者の「責任書」を持って参加します。
第4回	「すいん」ってどんなもの？	戦時中、このお話を「代食」として食べられていた人、実際に調理をして食べたことで、当時の食事情を学びます。	無料	【申込】10月8日(月)
第5回	戦跡めぐり of 八日市飛行場	八日市飛行場におかれる戦争遺構や歴史を学ぶことができます。あが橋本も見学します。※2	無料	※2 9日(八日市飛行場)という点で遠征があるため、お申し込みの人数に制限があります。
第6回	教えて戦争体験Ⅱ【長崎に落とされた原爆】	原爆投下に関するアンケート調査を行います。一般のみなさんの考えや思いを聞き取り、あなただけの平和に対する思いを伝えます。	無料	【申込】10月9日(火)
第7回	わたしたち平和へのねがい調査隊	原爆投下に関するアンケート調査を行います。一般のみなさんの考えや思いを聞き取り、あなただけの平和に対する思いを伝えます。	無料	【申込】10月13日(月)
第8回	戦跡めぐり in 大津	「軍艦」が沈んだ大津市、その大津市にも残るさまざまな戦争の跡を歩きます。	無料	【申込】10月25日(土)

※1 前日、前日開校日の案内をさせていただきます。各回の集合場所は、滋賀県平和祈念館です。  
講座の内容によっては、小学校低学年からの参加も可能です。お問い合わせは、申込用紙に、参加される回ごとの参加費をお知らせください。  
※2 申し込みは、参加される回ごとの参加費をお知らせください。  
※3 申し込みは、参加される回ごとの参加費をお知らせください。

参加者名	学校 年	
住所	滋賀県	
電話番号	携帯電話	
保護者名	一欄に参加される家族の名前	



○「平和の学校あかり」の開催・問い合わせ先  
 滋賀県平和祈念館 (東近江市下中野町4-31番地)  
 電話:0749-46-0300 FAX:0749-46-0350  
 メール:shawa@pref.siga.lg.jp  
 休校日:月・火曜日(祝日・お盆は除く) 年末年始  
 ○アクセス  
 名神高速道路「八日市IC」から車で約10分  
 JR 琵琶湖線 彦根駅または近江八幡駅 徒歩、近江鉄道  
 八日市駅からバスで約20分(東支所 彦根駅前)下車すぐ

前期募集

滋賀県平和祈念館

平成30年度 子ども向け体験型平和学習  
**平和の学校あかり**

子どもたちがさまざまな体験活動を通して、戦争の悲惨さを知り、平和への願いを育む「平和の学校あかり」【後期】を開催します。

**後期 参加者募集!!**

「平和の学校あかり」【後期】スケジュール

回	タイトル	開催日	学習時間	定員
第9回	育てて食べよう戦時食②	10月8日(月)	9:30~12:30	20名
第10回	教えて戦争体験Ⅲ 【兼田藤樹と大阪大空襲】	11月3日(土)	14:00~15:30	40名
第11回	戦時めくりin 大阪	11月17日(土)	9:30~17:00	40名
第12回	作ろう戦時のおもちゃ【お手玉】	12月8日(土)	14:00~16:00	20名
第13回	発信！わたしの平和への思い	2月16日(土)	14:00~16:30	10名
第14回	平和の学校あかり 体験報告会	3月17日(日)	15:00~16:00	10名

※各回とも参加費は無料です。  
(ただし、第9回と第11回は保険料20円が必要です。また、第11回は施設入館料等が必要です。)

○主な対象  
小学校6年生~中学校3年生 ご家族での参加、歓迎します。

○申込方法  
裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、持参、または FAX でお申し込みください。(電話や電子メールでも受け付けます)  
開校日の1週間前まで受付を完了します。ただし、定員に達した場合はその時点で受付を終了いたします。



平和の学校あかり【後期】申込用紙

滋賀県平和祈念館 まで (FAX:0749-46-0350)

回	タイトル	主な内容	参加費	備註
第9回	育てて食べよう戦時食②	前期講座の第2回講座で焼きたておまんこを収穫します。それを使って戦時食の作りかたも体験していただきます。※1	無料	※1: 前期講座第2回講座で焼きたておまんこを収穫していただきます。育てて食べよう戦時食②の参加費も無料です。ご了承ください。
第10回	教えて戦争体験Ⅲ【兼田藤樹と大阪大空襲】	兼田に写真へ触れ、その後に大阪に降り、大阪大空襲にあわれた方に会っていただきます。当時のことを聞いていただきます。※2	無料	※2: 「大阪大空襲」の体験型展示を見学していただきます。その後、ピースおぼやから大阪平和祈念館へお越しください。※3
第11回	戦時めくりin 大阪	大阪城周辺に隠れた戦時少佐の跡を見学します。その後、ピースおぼやから大阪平和祈念館へお越しください。※3	無料	※3: 「大阪大空襲」の体験型展示を見学していただきます。その後、ピースおぼやから大阪平和祈念館へお越しください。※4
第12回	作ろう戦時のおもちゃ【お手玉】	戦時はおもちゃも手作りでした。今回は、戦時のお手玉を作って当時の子どもたちがどんなおもちゃを作ったかを考えます。※4	無料	※4: 「大阪大空襲」の体験型展示を見学していただきます。その後、ピースおぼやから大阪平和祈念館へお越しください。※5
第13回	発信！わたしの平和への思い	本日の講座に合わせて、様々な形で平和への思いを伝えます。あなたが平和の学校あかりで学んだことは何ですか。※4	無料	※5: 6、7の2回講座のみの参加も可能です。
第14回	平和の学校あかり 体験報告会	当館青年事業にて平和の学校あかりで体験、学習したことを発表します。また、閉校式を行います。※5	無料	※6: 6、7の2回講座のみの参加も可能です。

※講座の内容によっては、小学校低学年からの参加も可能です。お問い合わせ先へお問い合わせください。  
※各回の集合場所は、滋賀県平和祈念館です。

参加者名 (A4用紙) \_\_\_\_\_ 学校 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_ 滋賀県 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ 携帯電話 \_\_\_\_\_

保護者名 (A4用紙) \_\_\_\_\_ (一欄に記入される保護者名前)



○「平和の学校あかり」の開催会場  
滋賀県平和祈念館 (東近江市下中野町4-31 豊地)  
電話:0749-46-0350 FAX:0749-46-0350  
メール:helwa@pref.shiga.lg.jp  
休館日:月・火曜日(夜日はお休み) 年末年始  
アクセス  
名神高速道路(八日市IC)から車で約10分  
JR 琵琶湖線彦根駅または近江八幡駅東口へ、近江鉄道八日市駅から徒歩約20分(粟津支所・彦根駅前下車徒歩)

後期募集案内

- 会員数 52名 のべ参加者 227名
- 事業内容

① 「平和祈念館ってどんなところ？」(5月26日)

全14回の講座の開校講座を行った。本事業の説明の後、ミニ平和学習や館内見学、バックヤードツアーを実施した。続いて、ワークシートに取り組みながら館内の展示を回る活動を行い、最後にオリジナル缶バッジづくりも実施した。



バックヤードツアーの様子



ワークシートにチャレンジの様子

② 「育てて食べよう戦時食①」(6月3日)

あいとうマーガレットステーション隣接農園でサツマイモの苗植えを行った後、戦時中に食べられた野草を祈念館周辺で探すネイチャービンゴを行った。最後に、当館ボランティアの戦時食グループの方が作った戦時のおやつを試食

した。



サツマイモの苗植えの様子



戦時のおやつを試食の様子

- ③ 「教えて戦争体験 I 【目玉焼きをくれた兵隊さん】」(7月22日)  
戦争末期、御園国民学校に空襲があり、当時、児童であった方を講師に招き、ご自身の体験をお話ししていただいた。最後に、質疑応答も行った。
- ④ 「『すいとん』ってどんなもの？」(7月29日)  
戦時食の代表である「すいとん」を調理して試食した。当館ボランティアの戦時食グループの皆さんの協力で愛東コミュニティーセンター調理室を借用して実施した。戦時の食についての話も聞いた。



すいとん作りの説明の様子



すいとん調理体験の様子

- ⑤ 「戦跡めぐり of 八日市飛行場」(8月4日)  
平和祈念館にて八日市飛行場のことについて簡単な学習を行った後、現地見学を行った。飛行場前駅跡や冲原神社(八日市飛行場正門門柱)、掩体壕などを見学した。



飛行場前駅跡の見学の様子



掩体壕の見学の様子

⑥ 「教えて戦争体験Ⅱ【長崎に落とされた原爆】」(8月9日)

実際に被爆された方を講師に招き、ご自身の体験をお話ししていただいた。  
最後には、質疑応答の時間も用意した。



講座の様子

⑦ 「わたしたち平和へのねがい調査隊」(8月13日)

あいとうマーガレットステーションの利用者と来館者(戦争体験聞く会参加者)にアンケート調査を行った。46名に質問し、回答を得ることができた。



あいとうマーガレットステーションでのインタビュー体験の様子

⑧ 「戦跡めぐり in 大津」(8月25日)

大津に残る戦争の跡をバスで巡った。大津市歴史博物館では、学芸員の方に青い目の人形についてお話をしていただいた。兵営前駅跡や陸軍墓地、園城寺法明院などを見学した。



大津市歴史博物館の見学の様子



園城寺法明院の見学の様子

⑨ 「育てて食べよう戦時食②」(10月8日)

あいとうマーガレットステーション隣接農園でサツマイモの収穫をした後、そのサツマイモで戦時食を作る調理、試食体験を実施した。



サツマイモの収穫の様子



戦時食調理体験の様子

⑩ 「教えて戦争体験Ⅲ【集団疎開と大阪大空襲】」(11月3日)

滋賀へ疎開し、その後大阪に戻り、大阪大空襲にあわれた方を講師に招き、ご自身の体験をお話ししていただいた。最後には、質疑応答を行った。



講座の様子

⑪ 「戦跡めぐり in 大阪」(11月17日)

大阪城周辺に残る戦跡や空襲の跡を見学した。その後、ピースおおさか(大阪平和国際センター)を見学した。



大阪城石垣の見学の様子



ピースおおさかの見学の様子

⑫ 「作ろう戦時のおもちゃ【お手玉】(12月8日)

戦時子どもたちが遊んだ「お手玉」を製作し、当時の子どもたちや家の人の気持ちを考えた。



お手玉作りの様子

⑬ 「発信！わたしの平和への思い」(2月16日)

平和の学校あかりに参加して、戦争について知ったことやそれぞれが抱いた平和への思いをプレゼンテーションソフトや新聞などにまとめた。

育てて食べよう戦時食 1・2

ボランティアの方々と共に芋を植えま  
した。



天気も良くたくさん芋が取れまし  
た



## まとめ

- ・私の知らない戦争の痕がまだ残っていると思うので、これからも学ぶ気持ちを無くさないようにしたい。
- ・戦争の怖さを改めて感じた。
- ・戦争の記憶が無くならないように私たちが次世代につなげていきたい。
- ・まだまだ戦争について学び、平和について考えていきたい。

子どもたちの作品

⑭ 「平和の学校あかり体験報告会」(3月17日)

周年事業の中で平和の学校あかりの活動発表の時間を設け、前回の「発信！わたしの平和への思い」でまとめたものを発表した。その後、平和の学校あかりの閉校式を行い、講座を5回以上の参加した受講者に当館館長より修了証書、

及び記念品を授与した。



報告会の様子



閉校式の様子

### (11) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール

○展示期間 平成 30 年（2018 年）11 月 3 日～平成 31 年（2019 年）1 月 31 日

○表彰式 平成 30 年（2018 年）11 月 3 日

#### ○事業概要

次世代を担う子ども達が、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子ども達が描く絵画を通して、広く県民に平和への想いを伝えることを目的として実施した。今回、県内の小学校 5 年生から中学生を対象に作品を募集したところ、県内小・中学校 23 校から 434 作品の応募があった。

#### ○入賞者

各 賞	学 校 名	学 年	氏 名
ピース賞（小学校）	野洲市祇王小学校	第 6 学年	もとおか みつき 元岡 実希
ピース賞（中学校）	湖南市立甲西北中学校	第 2 学年	えぐち 江口 なずな
ハート賞（小学校）	東近江市立八日市南小学校	第 6 学年	うえむら さえ 植村 咲笑
ハート賞（中学校）	東近江市立五個荘中学校	第 1 学年	おおすみ こうたろう 大角 恒太郎
オリーブ賞（小学校）	守山市立物部小学校	第 5 学年	ふじい けやき 藤井 楓
オリーブ賞（中学校）	守山市立明富中学校	第 3 学年	みずたに ゆづき 水谷 柚月

#### ※各賞について

ピース賞・・・滋賀県平和祈念館の理念と合致していることや祈念館の事業を推進するうえで効果的な作品

ハート賞・・・制作者の平和への思いを画面に意欲的に工夫し、効果的に表現している作品

オリーブ賞・・・平和への思いを自分らしい発想や構想で表現し、線画や色使いの技能が優れている作品

各賞	作 品	制作者の思い
ピース賞 (小学校)		<p>「平和への願い」のタイトルをつけ、平和がずっと続きますようにと願いを込めて制作しました。</p>
ピース賞 (中学校)		<p>平和を悲しんでいる人たちに笑顔になってもらうことで、リレーのバトンのように繋げていって広げていこうというメッセージがある。</p>
ハート賞 (小学校)		<p>世界みんなが手をつなげば、平和になると書いて書きました。</p>
ハート賞 (中学校)		<p>はとが war ではなく、peace の文字を完成させるために、a を運びます。</p>
オリーブ賞 (小学校)		<p>赤いひまわりは戦争で流れた血。人間やこん虫、動物など自然に生かされているものみんななかよく生きていく世界をつくる。その一歩の瞬間。</p>

オリーブ賞（中学校）



噴水の時計の時間は、終戦を告げた時刻です。その瞬間天使の羽が舞い降り、みんなが幸福を感じました。

## 4 平和学習支援事業

### (1) 来館学習の支援

#### ○来館学校数 実績

	総数	小学校	中学校	高等学校
学校数	47校	41校	4校	2校
児童・生徒数	2,340人	1,985人	271人	84人

#### ○主な方法

- ・ 展示見学  
(学校が作成するワークシートや当館職員が作成したクイズラリーを用いての調べ学習)
- ・ 館の職員によるミニ講座
- ・ 戦争体験者によるお話会
- ・ 戦時食体験



来館学習での展示見学の様子



研修室での平和学習

## (2) 出前授業

### ○出前授業実施校 実績

	総数	小学校	中学校	高等学校	大学
学校数	103 校	81 校	13 校	7 校	2 校
児童・生徒数	9,657 人	7,116 人	1,117 人	1,244 人	180 人

### ○主な方法

- ・ 実物や写真・動画の提示
- ・ 体験談の提示
- ・ 資料観察



出前授業での様子（東近江市立船岡中学校）

## (3) 地域への平和学習支援

戦後 74 年となり、「戦後 70 年」とメディアなどで取り上げられていた 4 年前と比べると、若干意識が低くなっているように感じるが、戦争を体験していない世代が増え、「子どもたち」とともに「大人」への語り継ぎが重要になることを踏まえて、公民館や地域の自治会、企業など各種団体などからの要望に応じた平和学習支援として、地域への出前講演を実施した。

平成 30 年度においては、47 団体、1,995 人の利用があった。

### ○主な内容

- ・ 「滋賀への空襲」
- ・ 「滋賀にまつわる戦争の記録」
- ・ 「戦争と滋賀」



出前講演の様子（米原警察署）

#### (4) 資料の貸出による平和学習支援

滋賀県平和祈念館では、学校や地域への平和学習を支援するために、実際に手にとって触れることのできるハンズオン資料やパネル、アニメ画入りの戦時体験映像の貸出を行っている。

平成 30 年度は、新たに「戦争体験者証言映像(2018)」を制作し、平成 31 年度から貸出を始める。

学校への貸出の傾向としては、視聴覚資料の貸出が多い。地域への貸出としては、今年度に貸出を始めた「戦争体験者証言映像(2017)」の貸出数が多かった。また、平成 30 年度も、夏期にパネルの貸出が集中する傾向にあった。

#### ○資料貸出しの実績

①学校への貸出 21 校

区分	総数	小学校	中学校	高等学校
学校数	21 校	18 校	3 校	0 校

②地域への貸出 59 件

#### ○貸出資料の種類

- ① ハンズオン資料…千人針、臨時召集令状（複製）、出征たすき、防空頭巾、配給切符、慰問袋、鉄かぶと、ゲートル、国防婦人会たすき、いなご採り袋、雑誌「週刊少国民」（ラミネート版）、カルタ「戦ふ日本カルタ」（ラミネート版）、双六「大東亜共栄圏めぐり」（ラミネート版）、出征のぼり
- ② パネル…Aセット（16 枚組）  
Bセット（20 枚組）  
Cセット（16 枚組）＜滋賀で学ぶ戦争の記録＞  
写真・ポスター類（64 枚）

③ 小学校国語科読み物教材「一つの花」対応セット

④ 視聴覚資料

- ・ 滋賀県民の戦争体験証言ビデオ「記憶の湖（うみ）17本」
- ・ 小中学校向けアニメ画入りの戦争体験証言映像  
「大阪から来た女の子」、「滋賀県満州報国農場の若者たち」
- ・ 2014、2015、2016、2017、2018年度制作の戦争体験者証言映像（DVD版・BD版）
- ・ その他、戦争や平和に関するビデオ・DVD



出征のぼり

## (5) 戦争体験者証言映像の制作

戦争体験者の体験談を記録・保存するとともに、広く県民に戦争の悲惨さや平和の大切さを学ぶための映像教材として、戦争体験者証言映像の制作を当館で企画し、委託事業によって制作した。平成 26 年度から事業を開始して、これまでに 4 作品を制作した。引き続き、今年度は 6 名の体験者にご協力をいただいて、「戦争証言 2018」を制作した。本作品は以下の 3 本の映像にまとめている。

また、本作品は平成 31 年 3 月 17 日の開館 7 周年記念事業において、お披露目上映会を開催し、好評を得た。

『戦争体験者証言映像 戦争証言 2018』DVD・Blue-ray

「狙われた軍需工場」(20 分)

証言：早瀬 充人さん・島野 喜道さん

「少年通信兵の戦争」(20 分)

証言：村田 辰夫さん

「少女たちの目にうつる戦争」(22 分)

証言：奥村早智子さん・本郷豊子さん・厩丘美代さん

**戦争体験者 証言映像** DVD VIDEO Blue-ray

戦争を経験された方が少なくなり、私たちがその方々の貴重な体験を聞く機会が少なくなりつつあります。滋賀県平和祈念館では、貴重な戦争体験者のお話を映像として残すとともに、戦争の記憶を語り継ぎ、平和の尊さを学ぶための資料として証言映像を作成しました。

**戦争証言 2018**

消えることのない心の傷

**映像内容**

**映像 1 狙われた軍需工場** [20分]  
兵器や爆薬、航空機など戦争に必要な物資を生産する軍需工場。戦争が激しさを増すにつれ、民間の工場でも銃弾や兵隊がつくられるようになります。そういった軍需工場は、アメリカ軍から第一攻撃目標とされます。なかでも東京や大阪の工場が立ち並ぶ都市は連日、大規模な空襲に襲われます。工場で働く学生運動労働員の若い命も数多く奪われていきました。  
【証言者】 早瀬充人さん、島野喜道さん

**映像 2 少年通信兵の戦争** [20分]  
戦局が悪くなるにつれ、若い命も戦場へ振り出されます。志願した14~19歳の男子は少年兵学校で教育を受け、戦場へと向かいます。少年が戦場で見たこと、経験したことは、戦後、長い年月を経てなお記憶に強い影響を及ぼしています。  
【証言者】 村田辰夫さん

**映像 3 少女たちの目にうつる戦争** [22分]  
昭和16年、小学校の呼び方は「国民学校」に変わります。子どもたちは「少女隊」と呼ばれ、「子どもでも立派な国民で、戦争に協力しなければならぬ」と教えられます。学校では授業はほとんどなくなり、女性や子どもたちは、兵器をつくる工場や、軍作業を手伝うようになります。強い戦争の出来事から子どもたちの顔の前にも色が変わっていきました。  
【証言者】 奥村早智子さん、本郷豊子さん、厩丘美代さん

**戦争証言シリーズのご紹介**

【人脈から来た女の心 (2013年制作)】  
【滋賀県戦時 戦時戦場の若者たち (2013年制作)】  
【戦争証言】 (2014年制作)  
【戦争証言2015】  
【戦争証言2016】  
【戦争証言2017】

**【映像の貸出し・お問い合わせ先】**  
映像の貸出しについてお問い合わせは、滋賀県平和祈念館までお願いいたします。また貸出しの手続き用紙があります。ご了承ください。

**滋賀県平和祈念館**

〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番地  
開館時間 09:00～17:00  
休館日 月曜日・火曜日（祝日に代わる場合は要確認）  
〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番地  
電話番号：0749-46-0300  
FAX番号：0749-46-0350  
E-mail：peace@pref.shiga.lg.jp

戦争体験者映像『戦争証言 2018』チラシ

## 5 ボランティア活動支援事業

当館では、開館に先立って平成 23 年度より当館の活動に参加いただけるボランティアの募集を開始した。平成 30 年度においては、新たにボランティア登録の申込があった方を対象とした「ボランティア登録講座」を 2 回開催（5、11 月）し、8 名の方が新たにボランティア登録をされた。平成 30 年度末現在におけるボランティア登録者数は 49 名で、年齢層は 10 代から 80 代の幅広い世代の方に登録いただいている。

具体的な活動内容としては、来館者案内活動、戦時食体験活動、手紙等解読活動、紙芝居や寸劇を上演する演劇活動、情報紙「平和の灯」を制作する活動など、各グループの活動が積極的に進められている。また、開館周年記念事業などの館事業への協力なども継続して行われている。

ボランティアの様々な経験に基づいた知識や技術、さらにはその主体的な活動を通して、当館の活動の幅は確実に広がり、多様なものとなっている。今後ともボランティア活動を通して、利用者と積極的に交流していただき、さらには『利用者と館をつなぐかけ橋』の役割を担っていただくことを期待する。また、平和祈念館ではそのためのサポートを続けていく。

### ○ボランティア活動の紹介

来館者案内活動グループ	館内での来館者との交流や案内をします。
戦時食グループ	食べるものがなかった戦争末期から戦後の生活苦を感じ、「食」の大切さについて考えます。
演劇グループ	平和や戦争をテーマにした紙芝居・人形劇・寸劇を創作し、上演する活動をします。
手紙等解読グループ	戦争中の手紙や日記などを、読みやすいように解読する作業をします。
聞き取りグループ	戦争体験者の方からお話を聞き、記録する活動をします。
情報紙制作活動グループ	情報紙「平和の灯」を制作します。
大凧づくりグループ	東近江大凧まつりに向けて、ミニ大凧（2 畳）をつくり、平和への願いや当館の活動を PR します。



ボランティア登録講座



来館者への案内活動



平和の学校あかりでの戦時食紹介活動



周年事業での創作劇の上演



手紙等解読活動



聞き取り活動



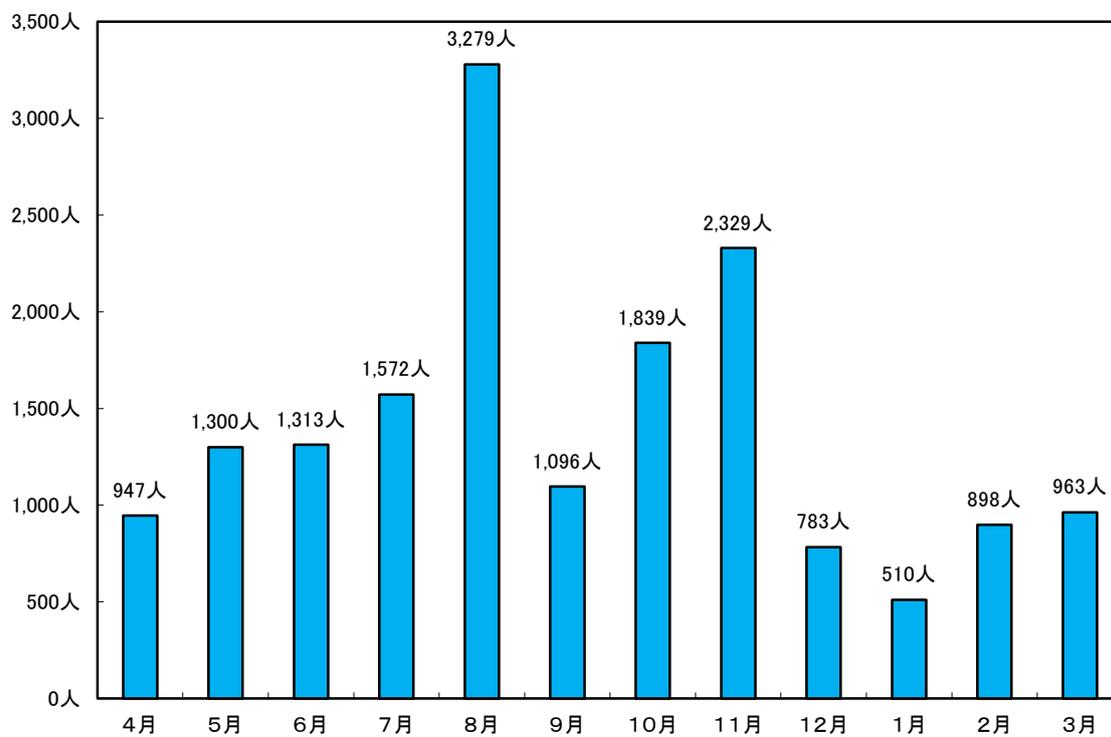
情報誌「平和の灯」

## Ⅱ 資料

### 1 利用状況

#### (1) 月別来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開館からの 累計
開館日数	22日	22日	19日	26日	31日	20日	22日	22日	18日	18日	21日	23日	264日	1858日
来館者数	947人	1,300人	1,313人	1,572人	3,279人	1,096人	1,839人	2,329人	783人	510人	898人	963人	16,829人	164,259人
1日あたりの 平均来館者数	43人	59人	69人	60人	106人	55人	84人	106人	44人	28人	43人	42人	64人	88人



## (2) 来館学校一覧

月	日	学校等名称	人数
平成30	6	8 愛荘町立愛知中学校	152
		15 東近江市立八日市南小学校	97
		28 東近江市立愛東北小学校	17
		28 東近江市立愛東南小学校	20
		29 東近江市立市原小学校	43
		29 東近江市立山上小学校	26
	7	5 東近江市立愛東中学校	35
	9	20 高島市立今津北小学校	15
10	10	10 竜王町立竜王小学校	70
	11	東近江市立御園小学校	97
	12	米原市立坂田小学校	71
	18	近江兄弟社高等学校	70
	19	東近江市立湖東第一小学校	26
	19	愛荘町立愛知川東小学校	59
	22	彦根市立稲枝東小学校	59
	24	竜王町立竜王西小学校	40
	25	東近江市立能登川北小学校	16
	26	東近江市立湖東第二小学校	32
	31	東近江市立五個荘小学校	106
11	1	東近江市立八日市西小学校	46
	1	長浜市立虎姫小学校	50
	2	東近江市立八日市北小学校	56
	5	鳥居本養護学校高等部	14
	6	長浜市立南郷里小学校	96
	7	多賀町立多賀小学校	50
	7	愛荘町立秦荘西小学校	31
	8	東近江市立布引小学校	31
	9	東近江市立能登川東小学校	67
	14	東近江市立箕作小学校	81
	14	米原市伊吹山中学校	46
	15	東近江市立玉緒小学校	39
	16	湖南市立菩提寺小学校	78
	16	東近江市立湖東第三小学校	27
	22	東近江市立愛東南小学校・愛東北小学校	44
	27	長浜市立びわ北小学校	16
	28	東近江市立蒲生西小学校	82
	29	東近江市立能登川西小学校	28
29	豊郷町立豊郷小学校	42	
30	東近江市立蒲生北小学校	61	
30	東近江市立蒲生東小学校	29	
12	4	東近江市立市原小学校・山上小学校	43
	6	東近江市立能登川南小学校	101
	6	湖南市立下田小学校	43
	13	愛荘町立秦荘東小学校	50
平成31	3	7 東近江市立愛東中学校	38

47校 2,340人

## (3) 出前授業実施団体

月	日	学 校 等 名 称	人数
平成30	5	7 甲賀市立朝宮小学校	4
		9 滋賀大学教育学部	90
		16 滋賀大学教育学部	90
	6	4 栗東市立大宝小学校	111
		8 草津市立草津第二小学校	120
		11 栗東市立治田東小学校	95
		12 大津市立南郷小学校	99
		14 大津市立日吉台小学校	23
		14 県立守山中学校	80
	7	3 県立彦根総合高校	200
		18 栗東市立大宝東小学校	92
	8	21 県立聾話学校低高学年	14
	9	6 甲良町立甲良東小学校	34
		11 大津市立晴嵐小学校	140
		11 草津市立笠縫小学校	103
		12 多賀町立多賀小学校	50
		13 大津市立青山小学校	181
		13 大津市立下坂本小学校	115
		14 近江八幡市立馬淵小学校	38
		14 近江八幡市立八幡小学校	139
		19 近江八幡市立安土中学校	125
		19 近江八幡市立老蘇小学校	23
		25 大津市立真野北小学校	41
		25 大津市立中央小学校	35
		26 長浜市立長浜北小学校	139
		27 東近江市立御園小学校	98
27 湖南市立水戸小学校	68		
28 近江八幡市立桐原小学校	79		
	10	1 高島市立本庄小学校	21
		2 大津市立小松小学校	35
		2 大津市立志賀小学校	134
		3 長浜市立南郷里小学校	98
		4 彦根市立高宮小学校	73
		5 大津市立堅田小学校	139
		5 大津市立膳所小学校	94
		6 長浜市立長浜北小学校	130
		10 近江八幡市立沖島小学校	5
		12 野洲市立野洲小学校	153
		12 草津市立南笠東小学校	67
		15 守山市立吉身小学校	125
		15 近江八幡市立岡山小学校	65
		16 米原市立息長小学校	31
		17 草津市立矢倉小学校	112
		18 大津市立小野小学校	23
		18 大津市立真野小学校	81
		19 大津市立瀬田小学校	176
		23 近江八幡市立北里小学校	50
		23 大津市立富士見小学校	101
		23 高島市立安曇小学校	65
		24 県立信楽高等学校	60
		25 草津市立笠縫東小学校	107
		26 大津市立藤尾小学校	29
		29 大津市立和邇小学校	115
		29 大津市立逢坂小学校	68
		30 長浜市立長浜南小学校	86
		31 東近江市立玉園中学校	105

月	日	学校等名称	人数	
11	1	甲良町立甲良中学校	64	
	2	米原市立伊吹山中学校	46	
	2	米原市立坂田小学校	81	
	5	大津市立平野小学校	209	
	5	守山市立小津小学校	72	
	6	大津市立石山小学校	92	
	7	県立守山北高校	181	
	8	彦根市立城南小学校	151	
	9	近江八幡市立金田小学校	178	
	12	守山市立守山小学校	190	
	12	湖南市立菩提寺北小学校	53	
	13	大津市立上田上小学校	11	
	13	大津市立瀬田南小学校	148	
	14	甲賀市立甲南第二小学校	20	
	15	県立膳所高校	43	
	15	愛荘町立秦荘東小学校	50	
	16	甲賀市立貴生川小学校	131	
	19	野洲市立三上小学校	36	
	19	東近江市立五個荘小学校	108	
	20	甲賀市立大原小学校	37	
	21	彦根市立旭森小学校	121	
	21	彦根市立平田小学校	37	
	22	守山市立物部小学校	128	
	26	甲賀市立伴谷小学校	63	
	12	3	大津市立伊香立小学校	10
		5	日野町立日野小学校	537
7		彦根市立鳥居本小学校	18	
7		彦根市立城西小学校	67	
12		栗東市立葉山東小学校	68	
14		草津市立志津小学校	126	
17		草津市立志津小学校（遠隔授業）	126	
18		野洲市立祇王小学校	94	
19		甲賀市立雲井小学校	18	
20		日野町立桜谷小学校	9	
平成31	1	10 鳥居本養護学校高等部	35	
		17 守山養護学校小学部	4	
		24 日野町立日野小学校	99	
2	7	湖南市立日枝中学校	110	
	12	東近江市立船岡中学校	69	
	14	東近江市立永源寺中学校	41	
	19	近江兄弟社高等学校	305	
	20	東近江市立湖東中学校	113	
	21	東近江市立永源寺中学校	41	
3	4	野洲市立野洲中学校	192	
	12	県立東大津高等学校	420	
	15	米原市立米原中学校	55	
	19	甲賀市立甲賀中学校	76	
103校			9,657人	

## 2 広報活動

### 新聞等報道記録（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

月	日	内 容	報道機関
平30 4	3	平和祈念館コラム 新年度を迎えて	滋賀報知新聞
	10	次世代に伝える戦争の記憶 戦地、銃後の「戦争体験を聞く会」	滋賀報知新聞
	15	戦時中の出征写真展示 家族中心に94枚 県平和祈念館で	中日新聞
	15	出征のぼり	デュエット4月号
	15	野洲郡 北里村 「戦時下のムラの人と風景」	デュエット4月号
	21	戦争体験者証言 映像に DVD作成 学校などに貸し出し	京都新聞
5	1	平和祈念館コラム 子ども向け体験型平和学習「平和の学校あかり」を開校します	滋賀報知新聞
	8	ボランティア登録講座受講募る 来館案内、演劇など7グループ	滋賀報知新聞
6	1	遠ざかる戦争の記憶、伝える営み 平和祈念館で子ども向け学習	報知写真新聞
	1	第20回企画展示戦場となった滋賀-県下の戦争遺跡-、戦争体験を聞く会、映画上映会	広報ひがしおうみ6月
	5	平和祈念館コラム 第20回企画展示「戦場となった滋賀 -県下の戦争遺跡-」	滋賀報知新聞
	8	県内戦争遺跡を網羅 平和祈念館が分布調査報告書 県立大へ委託して作成	滋賀報知新聞
	15	平和祈念館コラム 第20回企画展示「戦場となった滋賀 -県下の戦争遺跡-」	滋賀報知新聞
28	平和学習講座 人間爆弾「桜花」比叡山基地までの道	滋賀報知新聞	
7	2	これが桜花出撃基地 市民団体メンバー写真と映像で解説 人間乗せた爆弾特攻兵器	毎日新聞
	3	平和祈念館コラム 収蔵資料の紹介 守山空襲で被弾した天井、壁、床板 「住宅をも襲った機銃掃射」	滋賀報知新聞
	7	大戦末期 特攻兵器「桜花」秘密基地 県平和祈念館で動画を一般初公開	滋賀報知新聞
		特集 知っておきたい、滋賀に残る戦争の爪跡	コープしが情報紙 スパイラル
8	1	県内の戦争遺跡を紹介 東近江で展示 軍事施設の写真や民家弾痕	読売新聞
	1	戦争遺跡巡りで遠方児童呼び込み 県、平和祈念館で検討	京都新聞
	7	平和祈念館コラム 平和を祈念する日事業 未来へ語り継ごう～「私」から「あなた」へ～	滋賀報知新聞
	11	不戦の大切さつなぐ 親子平和学習会 県下の戦況と暮し 戦時食づくりも学ぶ	滋賀報知新聞
	12	滋賀県も戦場だった！ 八日市飛行場など紹介 空襲に遭った民家再現	滋賀報知新聞
	14	戦後73年 八日市飛行場跡地 児童生徒が掩体壕など巡る 県平和祈念館の体験学習	滋賀報知新聞
	15	戦争の証言記録 非公開 県や平和祈念館「個人情報」理由	読売新聞
	16	終戦記念日 各地で祈り 来館60人が黙とう 平和守り抜く決意 東近江	中日新聞
	16	「恒久平和を追求」誓う 終戦の日 祈念館で黙禱	朝日新聞
	18	県平和祈念館で 未来へ語り継ぐ事業 銃後、戦地の記憶、切々と	滋賀報知新聞
9	7	平和祈念館コラム 第21回企画展示「戦場より故郷の家族へ -戦没者の手紙-」	滋賀報知新聞
	14	「戦争の記憶」学ぶ子どもたち ご飯の代用食すいとん調理 サイパンの戦場跡にも	読売しが県民情報
	14	身近な戦争遺跡 目向けて 東近江パネル展 県内の軍事施設など	中日新聞

月	日	内 容	報道機関
10	1	漫画の中の戦争 佛教大・原田教授が講演 のらくろやはだしのゲン 役割を解説	毎日新聞
	2	平和祈念館コラム 「戦場からの手紙」	滋賀報知新聞
	5	平和祈念館コラム 「戦場からの手紙」	滋賀報知新聞
	6	漫画の中の戦争考える 県平和祈念館「大人のための歴史教室」	滋賀報知新聞
	30	「お前のことを思わない時はない」戦地から家族への手紙 県平和記念館で企画展	読売新聞
11	6	平和祈念館コラム 滋賀県平和祈念館ボランティアの紹介	滋賀報知新聞
	22	戦場からの手紙 家族思う 兵士ら23人の便り展示	京都新聞
12	4	平和祈念館コラム 企画展示に見る戦争体験	滋賀報知新聞
	7	「誰よりも一番泣いてください」 企画展「戦場より故郷の家族へ」	滋賀報知新聞
平31	1	6 八日市と飛行場にスポット 企画展「戦時下の村と陸軍飛行場」	滋賀報知新聞
		6 絵画を通して平和の思い伝える 植村さんと大角さんがハート賞	滋賀報知新聞
		8 平和祈念館コラム 本年も、平和祈念館をよろしく！	滋賀報知新聞
	11	しがガイド 遊覧選 ◇戦争体験を聞く会「国民学校1年生から6年生 ～私も戦争に加担～」	中日新聞
		13 農村生活と旧陸軍飛行場 県平和祈念館 証言や写真で紹介	読売新聞
	23 まちかど 映画上映会「カラーで見る太平洋戦争」	京都新聞	
2	5	平和祈念館コラム 平和学習支援の取り組み	滋賀報知新聞
	23	まちかど 映画上映会「独裁者」	京都新聞
3	5	平和祈念館コラム 「開館7周年記念事業開催 滋賀県平和祈念館へ行こう」	滋賀報知新聞
	7	歴史探訪 陸軍八日市飛行場と掩体群	滋賀報知新聞
	13	17日、県平和祈念館で7周年記念イベント	産経新聞
	20	県内の空襲被害 学ぶ 甲賀中 戦争の悲惨さ知る授業	京都新聞
	21	まちかど 映画上映会「あの日、僕らは戦場で」	京都新聞
	22	映画上映会「あの日、僕らは戦場で」	読売新聞

### 3 組織（平成31年3月現在）

#### (1) 職員

館長	端 信行
副館長	村井 洋一
専門員	伊庭 功
副主幹	梅山 光彦
副主幹	佐藤 誠治
主査	西堀 公範
主任主事	谷澤 真也
嘱託員	坂井 秀男
嘱託員	日高 昭子
臨時的任用職員	杉村 陽子

#### (2) 職員構成

区分	館長	行政職	学芸員	教育職	嘱託・臨職	合計
人数	1	3	1	2	3	10

#### (3) 滋賀県平和祈念館運営会議

座長	端 信行（滋賀県平和祈念館 館長）
委員	中島 伸男（東近江市戦争遺跡の会 世話役）
	中井 均（滋賀県立大学 教授）
大長	弥宗治（一般財団法人滋賀県遺族会 会長）
吉岡	登（東近江市立愛東コミュニティセンター 館長）
増田	隆（NPO 法人愛のまちエコ倶楽部 事務局長 あいとうエコプラザ菜の花館 館長）
瀧澤	和久（東近江市企画部企画課 課長）
福島	栄寿（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 会長）
中澤	光子（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 副会長）

#### (4) 滋賀県平和祈念館展示等監修委員

委員	原田 敬一（佛教大学 教授）
	原山 浩介（国立歴史民俗博物館 准教授）

#### 4 決算（平成30年度）

##### ○歳入状況

（単位：円）

科目	決算額
基金繰入金	34,500,527
諸収入	1,084,336
合計	35,584,863

##### ○歳出状況

（単位：円）

事業名	主な事業内容	決算額
管理運営費	施設維持管理費、施設運営費、事務費、広報費	27,568,300
展示事業	企画展示、特別企画展示、地域交流展示	1,792,544
資料収集保存事業	収蔵資料防虫防かび対策、研究図書購入、収蔵資料等デジタルデータ管理・公開システムの運用	1,894,669
普及啓発事業	平和学習講座、戦争体験を聞く会、映画上映会、平和の学校あかり	927,242
平和学習支援事業	平和学習支援教材作成、ピースメッセージ絵画コンクール	3,402,108
合計		35,584,863

## 5 施設概要

○所在地 滋賀県東近江市下中野町 431 番地

### ○建物概要

構造	鉄筋コンクリート	2階建
敷地面積	2,864.00㎡	
延床面積	3,115.45㎡	
	1階	1,759.03㎡
	2階	1,356.42㎡

○開館年月日 平成24年3月17日

### ○平面図



## 6 利用案内

- 入館料 無料
- 開館時間 午前 9 時 30 分から午後 5 時
- 休館日 月曜日および火曜日（ただし祝日にあたる場合は開館）

年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

※その他、業務の都合により休館する場合があります。

- 駐車場 約 50 台（無料）
- アクセス



- ・名神高速道路「八日市 I C」から車で約 10 分
- ・JR 琵琶湖線（東海道線）彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約 20 分「愛東支所・診療所前」下車すぐ

## 7 関係規程

### 滋賀県平和祈念館の設置および管理に関する条例

平成 23 年滋賀県条例第 48 号

#### (設 置)

第 1 条 県民に戦争の悲惨さおよび平和の尊さを伝えることにより、平和を願う豊かな心を育み、もって平和な社会の発展に資するため、滋賀県平和祈念館（以下「平和祈念館」という。）を東近江市下中野町に設置する。

#### (業 務)

第 2 条 平和祈念館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 県民の戦争に関する体験の記録その他の資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「資料」という。）を収集し、保管し、展示し、および利用に供すること。
- (2) 平和を願う豊かな心を育むために必要な普及啓発を行うこと。
- (3) その他平和祈念館の設置の目的を達成するために必要な業務

#### (開館時間等)

第 3 条 平和祈念館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。

2 平和祈念館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日および火曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日である場合を除く。）
- (2) 12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日までの日

3 知事は、必要と認めるときは、第 1 項に規定する開館時間を変更し、または前項に規定する休館日を変更し、もしくは臨時に休館日を定めることができる。

#### (特別観覧の許可)

第 4 条 平和祈念館が保管する資料の熟覧、模写、模造、撮影その他の利用（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、規則で定めるところにより、知事に申請し、その許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、前項の規定による申請があった場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) 平和祈念館における秩序を乱し、または善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 資料または平和祈念館の管理上支障があると認められるとき。
- (3) その他特別観覧を許可することが適当でないと認められるとき。

3 知事は、第 1 項の規定による許可をする場合においては、資料または平和祈念館の管理上必要な限度において、条件を付すことができる。

#### (特別観覧の許可の取消し等)

第 5 条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第 1 項の規定による許可を取り消し、または特別観覧を制限し、もしくは特別観覧の停止を命ずることができる。

- (1) 前条第1項の許可を受けた者（以下「特別観覧者」という。）が詐欺その他不正の行為によって同項の許可を受けたとき。
- (2) 前条第2項各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 特別観覧者がこの条例またはこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (4) 特別観覧者が前条第3項の規定により付された条件に違反したとき。
- (5) 当該許可に係る資料が災害その他の事故により特別観覧に堪えなくなったとき。
- (6) その他知事が特に必要と認めたとき。

（委 任）

第6条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、規則で定める。

付 則

この条例は、平成24年3月1日から施行する。ただし、第2条第1号（資料の展示および利用に係る部分に限る。）および第4条の規定は、同月17日から施行する。

---

滋賀県平和祈念館 年報 第7号 (平成30年度)

発行日 令和元年(2019年)8月10日  
編集・発行 滋賀県平和祈念館  
〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番地  
TEL 0749-46-0300 / FAX 0749-46-0350  
E-Mail [heiwa@pref.shiga.lg.jp](mailto:heiwa@pref.shiga.lg.jp)  
印刷 モリワキ印刷

---

